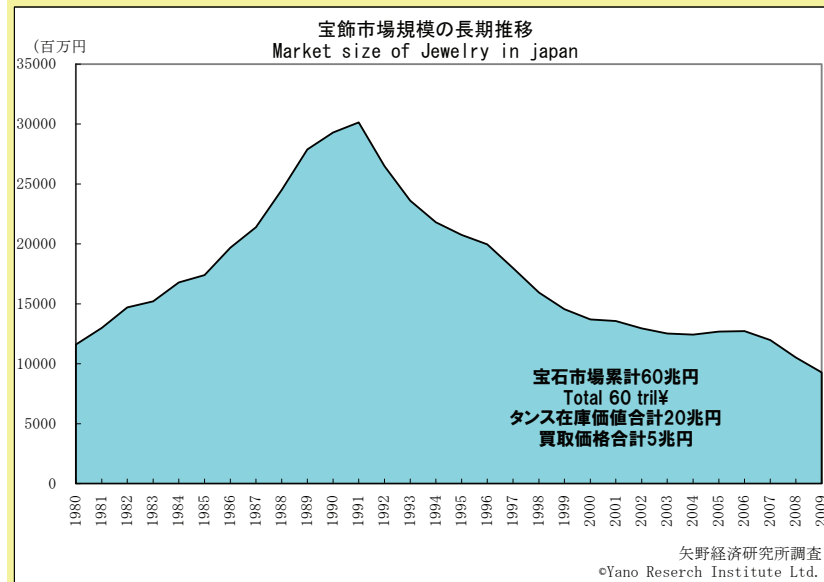


リサイクルジュエリーの動向

■現在の日本の消費者が保有する宝飾品在庫は 20 兆円の価値

矢野経済研究所では、宝飾企業約 1 万社の売り上げデータを基に、輸出入データ、消費データなどを加味して市場規模を算出、発表しているが、1960 年からのジュエリー市場規模を総合計すると、約 60 兆円と

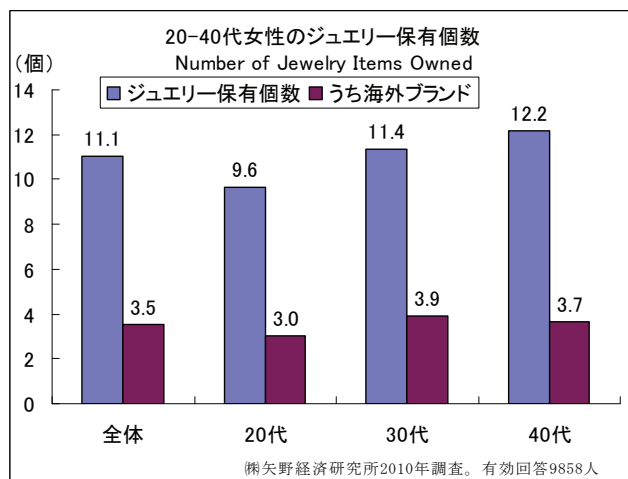
なる。但し、弊社の覆面調査の結果では、買取価格は購入価格に対して平均で 8.3%（後述のリサイクルの章参照）にしかならないことから、実際の買取額の合計としては 5 兆円程度と推計される。しかし、買取価格には、ダイヤモンドや色石などの査定価格はゼロのと



ころが多く、実際の市場価格と照らし合わせれば、20 兆円程度の価値がタンス在庫として眠っていると思われる。

近年そのうちの定価で数兆円程度は既に取り置きとして放出されていると見られる。

また、弊社調査による女性の平均ジュエリー保有個数は 11.1 個。20 代、30 代、40 代と急激に保有個数が増加することを勘案して、2010 年の住民基本台帳ベースの日本の年齢別女性人口を掛け合わせると、7 億個近いジュエリーがタンスに眠っていることになる。（ちなみに平均単価を出すと 28,600 円となる）



<調査実施要領>

1. 調査対象：東京、神奈川、千葉、埼玉、愛知、大阪、兵庫の 20～49 歳までの女性
2. 回答者数：9858 人
3. 調査期間：2010 年 9 月
4. 調査方法：消費者へのインターネットメール調査

詳細は宝石貴金属市場年鑑 2011 年版を参照